

施設カルテ

施設番号: 345

施設名: 別府市市民ホール(フィルハーモニアホール)

施設の概要	所在地	山の手町12番1号				運営形態	指定管理者					
	所属課	観光課				年間運営日数(日)	358.00					
	利用圏域	市域				運営時間 ^{※1}	開館	09:00	閉館	22:00		
	コミュニティ区分	南部				運営人員(人) ^{※2}	正職員	17.00	任用職員	13.00		
	施設用途	市民文化系施設					その他					
	中分類	文化施設				指定管理者・委託者等	ビーコンプラザ共同事業体					
	設置目的	芸術・文化の創造空間を市民に提供することにより、市民の自己実現に寄与するとともに、地方からの情報発信を促すことを目的として設置。施設は約1,200名収容可能である。				防災拠点施設指定	指定なし					
	設置条例	別府市市民ホールの設置及び管理に関する条例				外観	最寄りの類似施設	施設名		距離(m)		
	施設の現況	開設年月日:H7.3.4/主な利用者:市民及び観光客/用途地域:第二種住居地域/標高:59.7/駐車可能台数:562										
	建設費(円)											
	取得価額等(円)	1,558,274,400										
	補助金額(円)											
	減価償却累計額(円)	841,468,176										
老朽化比率	54.00%											
施設概要	危険区域等の有無:噴火(鶴見岳) 避難所の指定:無											
敷地面積(m ²)	18,414.81											
所有区分	公有											
建物状況	名称	構造	階数	建築面積(m ²)	延床面積(m ²)	建築年月日	法定耐用年数	老朽化状況 ^{※3}	新耐震基準 ^{※4}	耐震化状況	バリアフリー状況	
	別府市市民ホール(フィルハーモニアホール)	鉄筋コンクリート	3		8,657.08	1995/03/04(築27年)	50	老朽化対策の検討が必要	○		全て対応してる	
スペース構成の状況	名称	利用料収入(円/年)	延床面積(m ²)	年間利用者数(人/年)	利用目的別 利用者内訳(人/年)					利用状況	稼働率(%)	備考
					主催事業	サークル	地域利用	官庁利用	一般利用			
	フィルハーモニアホール	22,290,360	1,006.00	24,955						目的使用	29.00	104(日数)/358(営業日)
	リハーサル室	154,281	333.00	2,319						目的使用	26.00	92(日数)/358(営業日)
	楽屋1	178,000	23.00	180						目的使用	11.00	40(日数)/358(営業日)
	楽屋2	164,000	23.00	165						目的使用	10.00	38(日数)/358(営業日)
	楽屋3	142,000	46.00	144						目的使用	11.00	41(日数)/358(営業日)
	楽屋4	138,000	46.00	105						目的使用	11.00	39(日数)/358(営業日)
楽屋5	129,000	46.00	90						目的使用	10.00	35(日数)/358(営業日)	

※1:24時間の場合は0:00~23:59と表記している

※2:業務時間の割合で按分を行った場合は、小数点で表示している

※3:稼働年数が耐用年数の
 1/3未満 :問題なし
 1/3以上2/3未満:老朽化対策の検討が必要
 2/3以上 :老朽化が進行している

※4:1981年6月1日以降に建築確認を受けたものを○とする

施設カルテ

施設番号: 345

施設名: 別府市市民ホール(フィルハーモニアホール)

収入の状況	項目		平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	利用状況	項目		平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	
	収入	施設使用料収入		0	0		0	利用者		344,636	61,642	92,696
財産賃付料収入・目的外使用料収入			62,000	63,000	63,000							
負担金			0	0	0							
その他の収入			0	0	0	年間利用者数(人)		344,636	61,642	92,696		
収入合計(円)			62,000	63,000	63,000							
支出の状況	直営・人に係る支出		人件費	0	0	0	収支と利用者数の推移	<p>(円) (人)</p> <p>300,000,000 400,000 250,000,000 350,000 200,000,000 300,000 150,000,000 250,000 100,000,000 200,000 50,000,000 100,000 0 0</p> <p>平成31年度 令和2年度 令和3年度</p> <p>■ 収入合計(円) ■ 支出合計(円) ◆ 年間利用者数(人)</p>				
	直営・施設に係る支出		光熱水費	0	0	0						
			工事請負費・修繕料	30,864,000	31,474,000	272,000						
			土地・建物の賃借料	0	0	0						
			土地・建物以外のリース料	0	0	0						
			施設・設備管理委託料	155,859,000	7,909,000	7,084,000						
			施設に係る_その他	0	27,690,000	24,260,000						
	直営・事業運営に係る支出		事業委託費	0	0	0						
			事業物件費(需用費・役務費等)	0	0	0						
			事業運営に係る_その他	0	0	0						
	指定管理料		指定管理料	61,879,500	61,874,550	61,162,500						
	支出合計(円)			248,602,500	128,947,550	92,778,500		<p>老化状況 3 2 1 0</p> <p>最寄りの類似施設の有無</p> <p>避難所指定</p> <p>耐震化状況</p> <p>バリアフリー状況</p>				
	利用者1人あたりのコスト(円/人)			721	2,092	1,001						
	1㎡あたりのコスト(円/㎡)			28,717	14,895	10,717						
	稼働日あたりのコスト(円/日)			694,420	360,189	259,158						
支出に対する収入の割合			0.02%	0.05%	0.07%							
減価償却費(円)			31,165,488	31,165,488	31,165,488							
減価償却費を含む支出合計(円)			279,767,988	160,113,038	123,943,988							
減価償却費を含む支出に対する収入の割合			0.02%	0.04%	0.05%	<p>リーダーチャート</p> <p>老化状況についての判断方法 建物状況の老化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『問題なし:3点』 『老朽化対策の検討が必要:2点』 『老朽化が進行している:1点』 『未登録:0点』</p> <p>耐震化状況についての判断方法 新耐震基準が「O」の場合は3点とし、それ以外の場合は建物状況の耐震化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『耐震化状況_実施済:3点』 『耐震化対策中:2点』 『耐震化対策が必要:1点』 『未登録:0点』</p> <p>バリアフリー状況についての判断方法 建物状況のバリアフリー状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『全対応:3点』 『一部対応:2点』 『未対応:1点』 『未登録:0点』</p> <p>避難所指定についての判断方法 避難所指定の建物がある場合は3点とし、ない場合は1点とする。</p> <p>最寄りの類似施設の有無についての判断方法 最寄りの類似施設がない場合は3点とし、ある場合は1点とする。</p>						